

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手この手

2010
4・5
月号

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター【拠点やまと】 第39号 2010年5月6日発行



空高く泳ぐと気持ちいいよ。
—こいのぼり—



お礼

絵:「こぼくん」 趣ほのぼの絵師 あずみ
作品ブログ: <http://azukidon.blog.shinobi.jp>

『あの手この手』の表紙に、今年度スタート号から3回シリーズで「ありがとうの和の輪」のみなさんの絵が登場します。今号は“趣ほのぼの絵師”あずみさんの作品です。あずみさんは昨年度のカッコフェスタ'09で出会った絵師、15分で似顔絵を描く達人です。



大和市民活動センターと関わらせていただいて、大人と子どもとの関わり、地域の中にある濃い繋がりを強く感じました。そこで「繋がり」をキーワードの一つとして描いた、orange.shine 藤上大とのコラボ新商品「KOBOSTAR」限定イラストから特別に制作させていただきました。

*「あの手この手」は大和市民活動センターのHPではカラーでご覧になれます。

「あの手この手」は、今年度は隔月の発行とします。

あいだの月は登録団体からの情報をまとめてお届けする『情報交差点』を発行することにしました。団体のイベント情報などお寄せください。詳しくは同封の「お知らせ」をご覧ください。

「センター」のHPはいつも新鮮。[FM やまと]の出演やイベントなどは、その日のうちにUP。トップページには登録団体の活動の様子も掲載していきます。写真と説明文をメールで送ってください。[拠点やまと]



大イチョウのひとりごと

「センター」の前に立つ私はまだまだ若いほぼ80歳というところ。今年も緑の葉をたくさん付けることができました。「センター」に来たら、見上げて深呼吸してごらん。すーっといい気持ちになれるよ。

<送付の際、同封されているご案内>

- ・連続共育セミナー第 ③① 回 5/22(土)14:00~実施の「センターのきのう、きょう、あした」のお知らせ
- ・『情報交差点』についてのお知らせ

「新しい公共」であなたの想いを実現

相談会あります

5月10日(月)

大和市民活動センター

フリースペース 15:00～

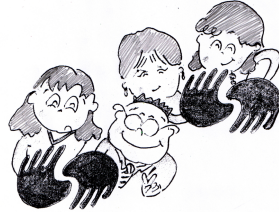
相談会の日だけではなく、その前でもいつでもお出かけください。

予約の電話を待っています。

TEL:046-260-2586

協働事業等提案
市民活動推進補助金

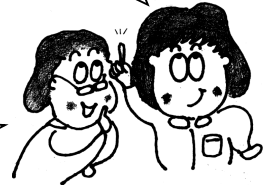
募集しています



あの手この手で問題解決

いいヒラメキ。
やりましょう。

あっ！
こんなのどーお？



イキイキとした地域社会をつくるためのアイデアをお持ちください。募集締切りは5月14日(金)です。

協働事業提案の流れ

6/13(日) 協働事業提案発表会

協働事業提案するに至った熱い思いを発表して、活動をアピールします。

7/10(土) 意見交換会

協働事業提案の内容について、市民の意見を聞き、提案者と意見交換します。

8月下旬 検討結果報告会

協働事業として活動展開できるかどうか、検討結果が説明されます。

市民活動推進補助金交付スケジュール

6/5(土) 14:00～ 勤労福祉会館3階ホール

市民活動推進補助金公開選考会

選考結果は当日発表されます。

選考アドバイザー

白井善裕(かながわ県民サポートセンター副所長)

小山紳一郎(湘南国際村学術研究センター副センター長)

益永律子(NPOサポートちがさき代表理事)

片山鉦蔵(大和市市民経済部長)

関根孝子(拠点やまと会長)

……協働事業と市民活動推進補助金で、あんなこと、こんなことやってます……

「ドッグラン」は犬と人の社交場(協働事業)

リードを外された犬は思いっきり飛びまわり、人間も解放感に浸ってリフレッシュ。マナー向上を呼びかけています。 —結の会—



道路アメニティ向上マップをつくりました(補助金「はぐくみ」)

延べ276人の住民がこまめに歩いて調査し、内山地区の道路アメニティ向上マップが出来上がりました。

—内山の街づくりを考える会—

感謝の気持ちが循環してます(補助金「めばえ」)

お母さんが安心して研修、学習等を受けるための子どもの預かり保育をしています。事前にお子さんの好きなことなどを聞いて、終了後は保育の様子をお知らせしています。感謝の言葉が次へのステップになっています。

—子育て支援 やまと虹の色—

子どもとっしょに阿波踊り(補助金「めばえ」)

高齢者施設などで阿波踊りを披露。小さい子どもたちの踊りが人気です。子育ての悩みも解消しています。 —夢わかさ連—



ドラマティックな展開をこれからも(補助金「はぐくみ」)

公募によるドラマティックな絵画展を開催。イラスト教室も大盛況でした。今後は「ドラマティックな音楽会」「星まつり」を開催し、「わが街やまと アートスポット Vol.2」を発行します。 —ドラマティックカンパニーYamato50—

「センター」のある日ある時

4月8日(木)晴れ

会議を終えた女性が、フェンス近くに咲くスマイルを見て「分けていただけます？」と言われました。スマイルに関しての万葉集の歌やこの種は原種に近いなどと、色々教えていただきました。Violet(学名Viola)は「紫色」で、楽器のViolaとは発音、アクセントがそれぞれ第1、第2音節で違うそうです。

「ツリーガーデン」は冒険広場(協働事業)

子どもは危険なことが大好き。緑野青空子ども広場のツリーガーデンでは、いろいろな遊びに挑戦できる。ピザを焼いたり、デイキャンプをしたり、アウトドアの楽しさがいっぱい。今は“こいのぼり”が泳いでいます。 —緑野青空子ども広場 ツリーガーデン運営委員会—

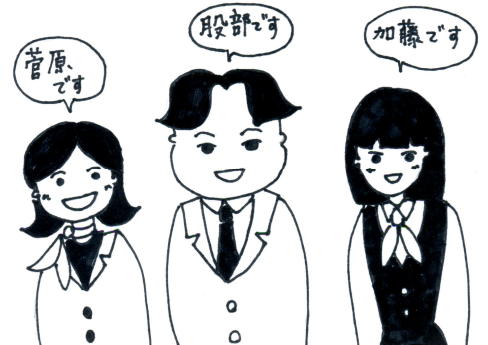




事業者が参加する「新しい公共」PART1
「活かそう！ 携帯電話で ひろがりの輪 つながりの手」

携帯電話は便利である反面、知らずに使っていると
思わぬことに巻き込まれてしまう可能性があります。
実際にあった事件、トラブルの事例の内容を映像を
使って紹介。また、災害用伝言板や料金トラブルの内
容をお話いただきました。高校生の参加もあり、次か
ら次へと質問が出て、有意義なセミナーでした。

架空請求はメールで来る！
絶対にアクセスしてはいけません。



ドコモショップ大和店の店長の股部さん、スタッフの
菅原さん、加藤さんわかりやすく説明をしました。

被害者にならないために
振り込め詐欺の実態…

- ★「オレオレ」と言って身内のふりをして電話をかけてき
て、情報を得ようとする。⇒まずは本人に連絡をして、
内容を確認する。
- ★携帯とキャッシュカードを持たせてATMへ行くよう指示
されたら、詐欺と疑う。
- ★還付金をATMで返還することは絶対にありません。

トラブルに巻き込まれないための対策

- ★迷惑メールの受信拒否/拒否設定をする。
- ★有害なページにつなげないためのフィルタリングサー
ビスを利用する。
- ★着信した電話番号表示をきちんと確認する。

身を守るために
災害の時には…

- ★iモード災害用伝言板サービスを利用する。
- ★緊急速報「エリアメール」で緊急地震速報が配信され
るので、避難などの対策をとることができる。

次回の連続共育セミナー 第③②回は

市民活動センターのきのう、きょう、あした
～よりよい「センター」をめざして～

5/22(土)14:00～16:00 「センター」で開催します。
昨年に引き続き、「センターがこうあったらいいな」という想
いを語り合しましょう。おもしろいアイデアなど、ぜひ、聞か
せてください。まずは、参加を。お待ちしております。

ドコモショップ大和店では「携帯電話教室」を毎週月・水・金
曜日に開催。お気軽にご参加ください、とのこと。こ
うです。メールコースのみでしたら、5月は毎週土曜日開催。
(お問い合わせはドコモショップ大和店 0120-770-360)

—サポーターは危機管理のスペシャリスト—

センターには、
週イチきています。
by 今里



3/24(水)のボランティア見学会に
参加した今里鐵男さんが、「センタ
ー」業務をサポートしてくれていま
す。海上保安庁勤務では、荒れた
海での海難救助や阪神淡路大震
災の現場にも出動されたとのこと。
貴重な体験も数々で、知らない世
界を教えてください。

中・高生の夏休みボランティア体験
「このゆびとまれっ！」の今年のメニュー
事前説明会があります

日時:5/16(日) 10:00～12:00

場所:生涯学習センター

子育て支援サポーター(子どもと遊ぼう)

日時:7/29(木) 14:00～17:00

場所:しんちゃんハウス

障害者・児、支援サポーター

・ワン・ピースの子どもたちとの交流

日時:8/7(土) 13:00～16:00

場所:大和市民活動センター

・サウンドテーブルテニス(視覚障害者の卓球)のサポート

日時:7/26(月) 8/23(月) 13:00～16:00

場所:大和市保健福祉センター

・FMやまが聴けるラジオ作り(視覚障害者へプレゼント)

日時:未定

場所:大和市民活動センター

4月17日(土)雨のち晴れ 「センター」のある日ある時
高齢者施設 晃風園でボランティアをした
高校生の感想。

私生活ではグループホームなどに関わりがない
のでとても不安でしたが、数分後にはお年寄りの
笑顔で緊張はなくなりました。詩吟やジェスチャー
ゲーム、童謡を歌ったりしてたくさんのお年寄
りとふれ合えました。何十歳も年が離れている私
たち高校生とおばあちゃん、おじいちゃんたちが
いっしょに数時間いるだけで楽しめる。感謝す
る。感謝される。学ぶことの多い体験になりまし
た。(柏木学園高校3年 田口幸恵)

『やまとっ☆みつけた』

第 98 回 3/30(火) ~平和な、戦争をしない日本を~
＜ 憲法九条やまとの会＞

日本が64年間平和だったということで、世界から見る日本人のイメージは非常に暖かいものがあるようです。どこへ行っても日本というのは平和で知的で豊かな国。武器輸出をしないということで好意を持たれているのです。そういう日本のいいイメージを維持していくためにも「憲法九条」をとことん守っていくんだ、という固い決意を持って活動しています。(問合せ 046-272-8880)

第 99 回 4/ 6(火) ~子ども達にはいつも笑顔を~
＜子ども・子育て応援ネット おやこのスペースわにわに＞

いろんな大人たちに見守られながら子ども達が育っていけばいいな、との思いから昨年11月スタートしました。「わにわに、楽しい？」パーソナリティのジョニーさんの問いかけに、0歳、3歳、4歳の子どもたちは、それぞれに「絵本が楽しかった」「みんなで作って遊んだりしたもんね」「裸にもなったもんね」とお互いに顔を見合わせ、得意げに返事をする姿がかわいらしくて、ついカメラのシャッターを押してしまいました。



(問合せ 046-283-1902)

＜これからの 出演団体＞

- 第 101 回 5/ 4(火)柏木学園高等学校 3 年生たち
- 第 102 回 5/18(火)大和市民点訳赤十字奉仕団
- 第 103 回 6/ 1(火)大和市民役所市民活動課の 皆さん
- 第 104 回 6/15(火)市民のための介護保険をつくる会

第 100 回 4/ 20(火) ~譜面は平和の教科書~
＜大和芸術文化振興会＞

3 名によるサクソフォンの生演奏でスタート。「生の演奏は空気の振動、音の波のようなものが押し寄せてきて、心をぐっとつかみますすね」とジョニーさんの感想。音楽を通して若者が羽ばたいていけば、素晴らしい大和の PR になるし、「大和に住んでいてよかった」という子ども達が多くなるよう、魅力的な環境を作っていきたいです。(問合せは大和市民活動センターへ)



「朝ラジ ホットスクランブル」は再放送が 2 回あります。
当日の 15:00~15:50 22:00~22:50
9:00 からの生放送を聴きのがした人は再放送をお聴きください。

ラジオをお聴きになって感想を FAX、メールで [FMやまと]へ送ってください。
FAX :046-265-2777
E-mail :morning@fmyamato.co.jp

★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた ★やまとっ☆みつけた

「センター」のある日ある時

4月17日(土)雨のち晴れ
「鉏路市民活動センターで『あの手この手』が綴じられているのを見て、うれしくなって電話しました」という前協働推進会議会長の渡辺精子さんの弾んだ声が伝わってきました。

「センターがあってよかった！」を「あの手この手」で考えています。5月の共育セミナーでは登録団体みなさんと知恵を出し合ひましょう。(関根孝子)

「ここ何やってんの～」と、これからも多くの人が気軽に立ち寄っていくセンター。そして一緒に話しながら盛り上がるセンター。(望月則男)

センターを真中に、登録団体がつながりあって、共に育ち広がって花が咲くように、せっせと種まきをしていくところでありたいな。(村山真弓)

センターでは、人と出会う。人は一人でなく、二人(以上)で成り立つ。二人でキャッチボール。共育の基。登録団体と、団体同志もある。(浅見正明)

これからの市民活動センターの役割は、市民主導による「まちづくり」のために登録団体が市民活動・市民参加への誘導と、それを支援する行政との関係づくりに努める。(松村 襄)

熱血編集後記



「拠点やまと」メンバーが「センターがこうであつたらいいな」という想いを書きました。

市民が運営する手づくりの温かさ、身近さを活かしながら、市民活動を推進・応援・共育する施設でありたい。(中山みゆき)

大和市民版特製「国語辞典」の「と」のページに「共育」の漢字二文字あり。読みは「ともいく」。[拠点やまと]のキーワードであるとあった。(小杉皓男)

絶え間なく人の出入りがあり、いつも笑い声と歓声につつまれた活発な活動センターでありたい。(櫻井貞代)

「きのう来たのですが、また来たくなったので寄りました」と、うれしい言葉。魅力的な人との出会いがある場。そんなセンターでありたい。(石川美恵子)

*今号の用紙の色は若草色。小鳥のさえずりが似合う“春”の色です。

「あの手 この手」第 39 号 発行日・2010 年 5 月 6 日

発行・大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館・月～土 9:00～18:00>
〒242-0021 大和市民中央 1-5-1

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
E-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokyoten.com/



大和市民活動センター[拠点やまと]が制作発行する
隔月刊広報紙「あの手 この手」。
新年度最初の4/5月号(第39号)をお届けします。

本号 p.4 にある「熱血編集後記」に[拠点やまと]メンバーが「センター」はこうありたいということ、それぞれが 60 字ほどで記しています。

人との出会い、人とのキャッチボール、人の出入り、笑い声、歓声、人と一緒に話しながら盛り上がるそんな「センター」でありたいと。そうか、やっぱり「人」が基本なんだ。様々な人と人との関係づけ、参加の真ん中に「センター」はありたいということを行っている。

2004 年に公布された「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」。今から 6 年前にできた「条例」だ。その前文にこんな一文(=ゴチック体)がある。

行政により担われていた「公共」に市民や市民団体、そして事業者も参加する時代が来ています。「私」を大切にするために様々な選択肢があることが普通のことになってきました。このように、多様な価値観に基づいて創出され、共に担う「公共」を、私たちは「新しい公共」と呼びます。

ところで、新聞記事切り抜き掲示板貼り出し係でもある私は毎日、各紙の新聞を見ているけれど、紙面から「貧困」、「自殺」、「虐待」、そして「災害」などの言葉を見ない日はない。今年になって増えているようにさえ思う。救えなかったのか……と思いながら読む。そこに「人」はいなかったのかと思う。普段の話す相手がいれば、支えあう「お互いさまだよ」という人がそばにいたら、救えたかもしれないと。

私は「共助」という言葉を思い浮かべる。そして共助の意志ある市民が公(=行政)とつなぎ、公に参加し、お互いをパートナーとしながら、共助の精神を前に進めていく精神と仕組みづくり(=協働)が「新しい公共」なのだと思う。

いのちを守りたい。今年 1/29(金)、鳩山首相の施政方針演説「むすび」の文頭にこの言葉があり、阪神・淡路大震災を例にし、多くのボランティアが駆けつけ、復旧に向けた機材や義援金が寄せられ人々を勇気づけました。そして「みんなで力を合わせ、人のため、社会のために努力したのです」と。これを「新しい公共」の出発点と位置づけた演説だった。

人と人をつなぎ、お互いさまと支えあう人と人の関係の結節点に大和市民活動センターがあることを今号の「熱血編集後記」は語っています。人、いてこそ「センター」。どうぞ「センター」に来てください。「センター」を活用してください。 2010/05/06 記・[拠点やまと]広報係 小杉皓男

